

「新しい政権とたたかいの方向」を解明 09憲法講座(10.3)・拡大常任幹事会(10.2)に期待高まる!

総選挙で有権者は、政治を変えたいという強い願いを投票行動につなげ、劇的に自公政権を退場させました。「変化」への期待を担う新政権は、国民的な要求に部分的に応える一方、安保外交政策では、「現実路線」への傾斜を強めようとしています。

このようななかで迎える憲法講座では、杉原泰雄さんが歴史の大局にたって、激動の政治的局面のもとでの日本国憲法の意義を解明し、山田朗さんが、新政権の安保外交政策、アフガン派兵の重大な危険等についてお話をされます。また、日本共産党国対委員長穀田恵二さんが、最新の国会動向について報告をされます。憲法講座の前日、10月2日には、憲法会議は拡大常任幹事会を開催し、憲法めぐる情勢と定数削減反対など、今後のたたかいについて議論します。多数の参加を呼びかけています。

2009年憲法講座

— 「新しい政権とたたかいの方向」 —

○日時：10月3日（土）午後1時～5時

○会場：専修大学神田キャンパス 1号館 3F303教室

最寄駅：JR・「水道橋」西口7分／半蔵門線「九段下」5より3分
都営三田線、都営新宿線、半蔵門線「神保町」A2より3分

第1講座：山田 朗さん（明治大学教授、歴教協委員長）

「総選挙後の情勢と自衛隊の海外派兵」

第2講座：杉原泰雄さん（一橋大学名誉教授）

「憲法と資本主義一百年に一度の危機のもとで考える」

特別報告：穀田恵二さん（日本共産党国対委員長）

「国会めぐる新たな情勢」

☆事前に下記のファックスまたはメールアドレスへお申込みください。先着500名様です
☆資料代として1000円（学生500円）を当日、会場でいただきます

電話 03-3261-9007 ファックス 03-3261-5453

Eメール mail:hasegawa@kenpoukaigi.gr.jp